2007年度技術トレンド調査（第1回）

日経産業新聞
2007年4月12日

日経産業新聞　2007年（平成）4月12日（木曜日）　P.17
ハイテクmonthly

環境・高齢化対応で成果

2007年度 技術トレンド調査（第1回）

素材系が健闘、産学連携も本格化

総合ランキング（上位25位まで）

順位	開発主体（発表日）	成果の概要	総合点
1	東京大学（1月18日）	スペイン風邪、ウイルス増殖力1000倍、動物実験で推定	10.80
2	日本製粉、農業・食品産業技術総合研究機構（12月12日）	コムギ、甘み2倍、オリゴ糖多め	10.75
3	科学技術振興機構（12月13日）	精霊の方向変えたＬＥＤ、発光効率10倍超	10.57
4	東　レ（1月31日）	ゴムのようなプラスチック開発	10.46
5	国立精神・神経センター（1月3日）	抜てんかん薬「ゾニサミド」パーキンソン病に効果	10.40
6	東北大学（1月26日）	透明トランジスタに迫、薄膜素子を開発	10.35
	名古屋大学（2月22日）	医薬候補物質、1工程で効率合成	
8	日立製作所と東北大（2月13日）	新型ＭＲＡＭ、2メガビットチップ試作	10.17
	日亜化学工業（2月20日）	青紫色レーザー、書き込み速度5倍	
10	産業技術総合研究所（12月14日）	大電力型半導体、炭化ケイ素を使用、電気抵抗が世界最小	10.00
	理化学研究所と東京大（2月8日）	イネの収穫制御ホルモン、活性化遺伝子を発見	
12	東北大と三菱化学（2月9日）	窒化ガリウム高品質に、アンモニア使い作製	9.75
13	首都大学東京、鹿島研（1月22日）	ナノチューブで気体識別、小型センサーに応用	9.66
	東北大、ＮＥＣ（1月26日）	ＩＰ電話の盗聴防ぐ、音声データ分割送信	
16	キリンビール米子会社など（12月31日）	プリオンない牛、1年8ヵ月正常	9.57
	東　大（2月6日）	染料で発光材料、発光効率3万倍	
17	放射線医学総合研究所など（2月2日）	認知症初期異常、ＰＥＴで観察	9.45
	理　研（1月18日）	植物を小さくする酵素、成長ホルモン抑制	
19	金沢大学など（2月6日）	「社会性ホルモン」分泌関与物質を特定	9.43
20	山形富士通、神奈川科学技術アカデミーなど（1月16日）	高密度ハードディスク、実現へ基礎技術開発	9.40
21	埼玉医科大学など（1月23日）	アルツハイマー病のワクチン、原因たんぱく質半減	9.33
	東大など（2月9日）	高温超電導、「電子ガラス状態」発見	
23	東　レ（12月6日）	炭素繊維複合材料、10分間らずで成形	9.25
24	ＮＴＴ（12月21日）	光を減速、秒速5600倍に、シリコン結晶を利用	9.17
25	九州大学と東大（1月8日）	脳梗塞の発症遺伝子、塩基配列で個人差	9.00
	理　研（1月24日）	脳の神経細胞つなぐシナプス、互いに情報伝える	

東北大学の研究センターと日本製粉が開発した日本小麦と農業・食品産業技術総合研究機構（NIAS）開発は三位。

技術経営を聞く

完

松崎　正年氏

研究開発の主なテーマと体制

量削減カギ